

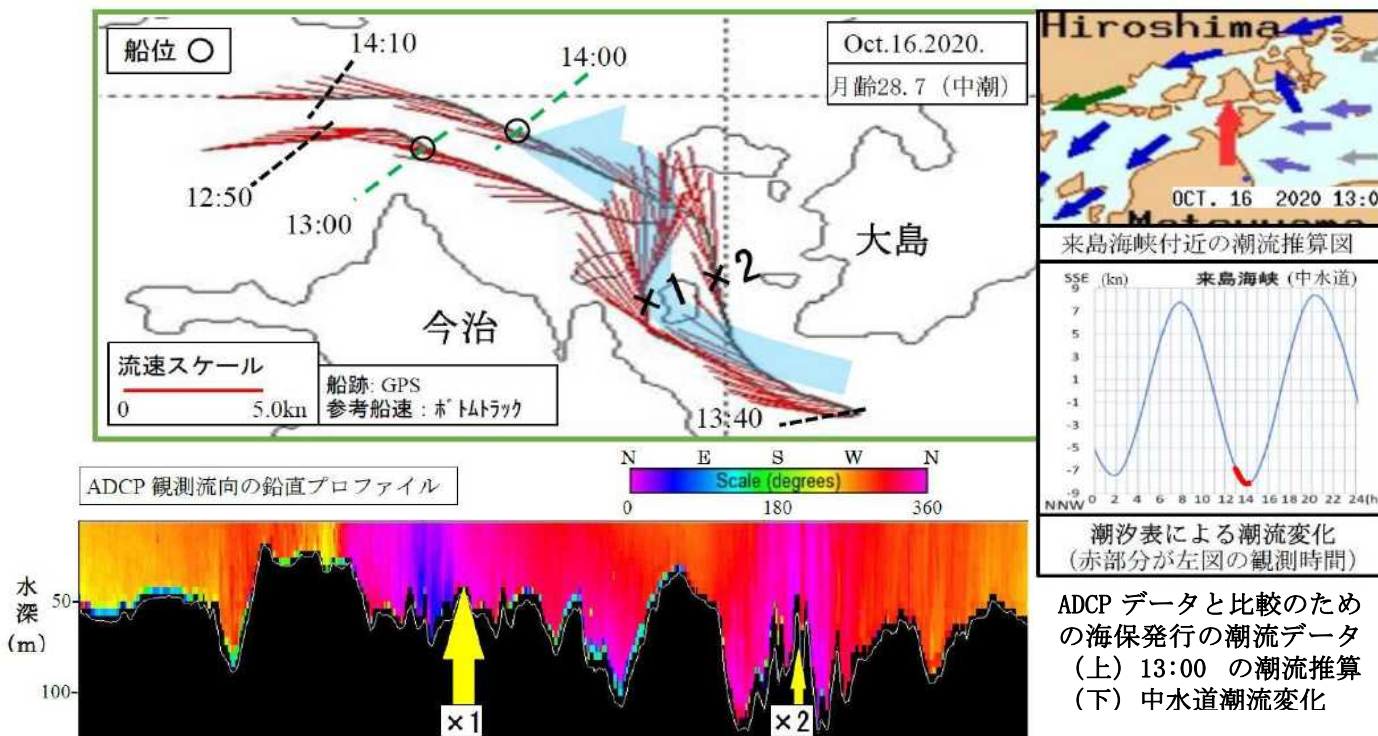
研究タイトル： 各地域の特徴とニーズに合わせた海洋 環境計測と現象分析の実施(瀬戸内編)



氏名：	千葉 元／CHIBA HAJIME	E-mail：	chiba@oshima-k.ac.jp
職名：	商船学科・教授	学位：	博士(工学)
所属学会・協会：	海洋調査技術学会・日本航海学会・漂着物学会・電気設備学会		
キーワード：	海洋環境計測、海潮流調査、リモートセンシング(人工衛星画像、海中超音波探査)		
技術相談 提供可能技術：	・ADCP、CTD、計量魚群探知機の操作・データ分析 ・海洋環境計測 ・海潮流観測		

研究内容： 瀬戸内海の広域の潮流観測と時空間変化特性の分析・局所潮流の観測と発生機構分析

広島商船高専「広島丸」と大島商船高専「大島丸」の船底搭載型 ADCP で実習航海に合わせて瀬戸内海の潮流観測を実施している。ここでは海上保安庁が発行する潮流推算との比較検証を実施している。こうした実習航海のデータを蓄積していくことで、瀬戸内海の潮流の時空間変動特性が把握と発生機構分析を実施している。



- (上) 来島海峡を往復して航行した際に得られた ADCP データ (推測された流れを青い太線矢印で示す。)
- (下) ADCP データと同時時間帯の流向の鉛直プロフィールデータ (強潮流観測位置×1, ×2 を黄色矢印で示す。)
- 藤本潤, 千葉元, 清田耕司, 道田豊, 藪上敦弘, 岸拓真:「船舶搭載型 ADCP による瀬戸内海の潮流調査-練習船実習航海時観測値と潮流推算との比較検証-」, 日本航海学会論文集 146, 2022 年 7 月
 - 千葉元, 道田豊:「大島瀬戸強潮流近傍に位置する周防大島沿岸域の潮流調査」, 海洋理工学会誌 27(1), 2022 年 8 月 ⇒大島商船高専の前面海域の小松港区域周辺における局地潮流の観測と現象分析を継続して実施中
- 海上設置ブイによる気象海象状況のリアルタイムモニタリング、ビデオ画像処理による潮目や海霧の発生状況把握や予測技術の確立にも取組中 ⇒「ブイによる多点多層観測と画像解析による潮目検出を利用した大島瀬戸の潮流把握」, サレジオ工業高専・宇部工業高専と共同で WiCON2024 に採択 (<https://wicon.jp/2024/teams/teamsuo>)

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

船底搭載型 ADCP(300kHz)

小型 ADCP(600kHz, 1200kHz)

電磁式流向流速計

小型 CTD・XCTD